

ひょうごらくのうメモ

4

2023APR



表紙:『モ～おなかいっぱい』南あわじ市 岡田惟央李さん
第40回らくのうひょうごフェスティバル絵画コンクール応募作品より

フルカラー版は組合ホームページから
ご覧いただけます。



発行：兵庫県酪農農業協同組合

神戸市西区伊川谷町潤和1058
西神文化センター3階

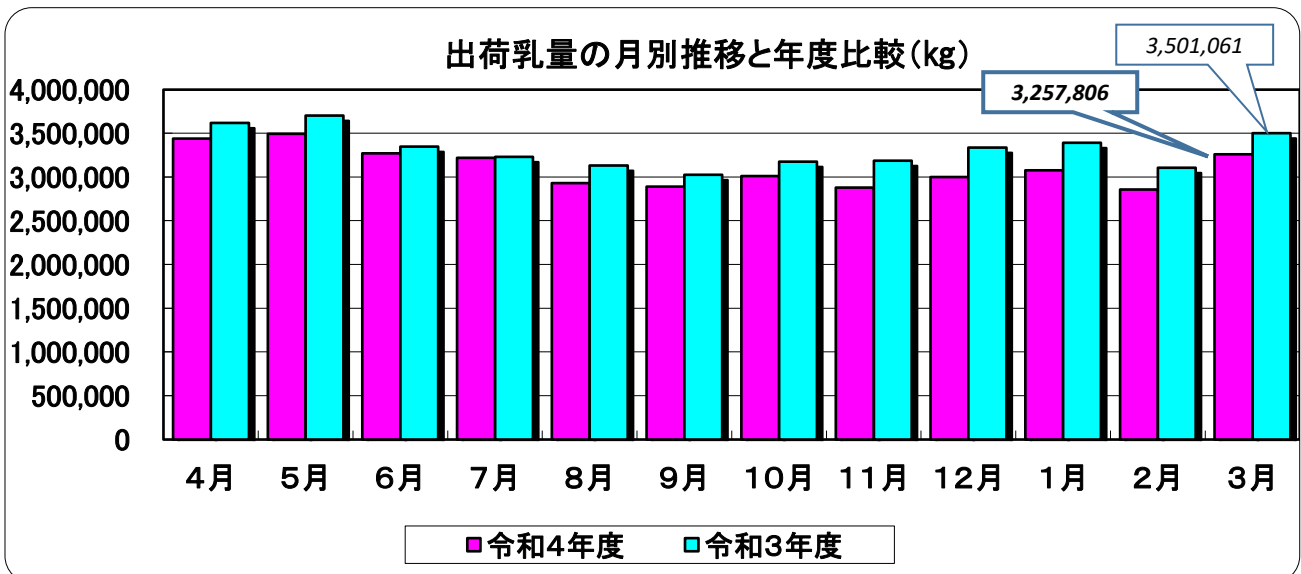
生乳生産統計

1. 全国(令和5年2月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より)

			生乳生産量 (千トン)	対前年比 (%)
令和	4年	4月	657.0	102.0
令和	4年	5月	678.5	101.2
令和	4年	6月	642.9	100.4
令和	4年	7月	645.5	101.0
令和	4年	8月	626.9	99.8
令和	4年	9月	606.2	98.8
令和	4年	10月	621.9	98.6
令和	4年	11月	596.9	97.2
令和	4年	12月	621.1	96.2
令和	5年	1月	624.3	96.0
令和	5年	2月	570.4	95.5
令和	5年	3月		
令和	4年度	累計	6,891.0	98.8

2. 兵庫県酪農協取扱い分(公共施設除く)

地 区	令和 5年3月		年度累計		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 (k g)	対前年比 (%)	生乳生産量 (k g)	対前年比 (%)	
阪神地区	573,165	87.7	6,938,316	94.5	20
播州地区	482,539	84.4	6,195,677	90.6	18
丹但地区	327,060	99.6	3,754,238	97.9	14
淡路地区	1,875,042	96.3	20,428,542	94.0	86
合 計	3,257,806	93.1	37,316,773	93.9	138



臨時総会結果報告

令和5年3月28日(火)、第1回臨時総会を本人出席9名、委任状出席2名、議決権行使書76名により開催。丹波篠山市波多野省三氏が議長就任され、三議案を決議されました。各議案決議については次のとおり。

第1号議案 役員の補欠選任について

推薦会議 原議長から推薦会議経過説明の後、投票により決議された。

賛成 85 反対 1 (議決権行使書含む) 補欠選任について可決決定した。

第2号議案 退任監事に対する退任給与金の支給並びに役員退任給与引当金取崩しについて

賛成 87 反対 0 (議決権行使書含む) 原案とおり可決決定した。

第3号議案 附帯決議について

賛成 87 反対 0 (議決権行使書含む) 原案とおり可決決定した。

★ 令和5年度通常総会の開催日については6月29日13:30
西神文化センター4階大ホールでの開催を調整予定

◆ 主な行事予定 ◆

4月

20日 地区別インボイス制度講習会(複列公民館)

24日 内部管理職会議

5月

※第1回役員候補者推薦会議 25日～27日調整中

1日 職員会議(WE B)

18日 全国酪農協会・役員候補者推薦委員会(WE B)

22日 内部管理職会議

23日 兵庫県酪農女性部令和5年度通常総会

25日 近畿生乳販連販売委員会・理事会(WE B)

参考情報

淡路家畜市場情報

令和5年3月第2金曜日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			F1 スモール	メス	今回	9	88,122	214,500	60,500		
前回	10	109,230			171,600	22,000			57	-21,108	-19.3%
前年	14	128,229			198,000	75,900			55	-40,107	-31.3%
オス	今回	15		112,493	232,100	40,700			54		
	前回	16		103,950	200,200	1,100			53	8,543	8.2%
	前年	13		115,500	203,500	63,800			55	-3,007	-2.6%
去勢	今回										
	前回										
	前年										

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			ホルス スモール	メス	今回						
前回											
前年											
オス	今回	4		19,800	27,500	12,100			52		
	前回	6		9,717	20,900	1,100			48	10,083	103.8%
	前年	4		40,150	52,800	24,200			50	-20,350	-50.7%
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前回は令和5年2月第4金曜日・前年は令和4年3月9日

令和5年3月第4金曜日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			F1 スモール	メス	今回	12	115,317	183,700	31,900		
前回	9	88,122			214,500	60,500			53	27,195	30.9%
前年	10	134,750			180,400	42,900			56	-19,433	-14.4%
オス	今回	11		111,100	226,600	2,200			55		
	前回	15		112,493	232,100	40,700			54	-1,393	-1.2%
	前年	11		162,900	212,300	91,300			54	-51,800	-31.8%
去勢	今回										
	前回										
	前年										

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			ホルス スモール	メス	今回						
前回											
前年	1	17,600			17,600	17,600			51	-17,600	-100.0%
オス	今回	6		11,550	19,800	1,100			48		
	前回	4		19,800	27,500	12,100			52	-8,250	-41.7%
	前年	7		61,914	106,700	14,300			52	-50,364	-81.3%
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前回は令和5年3月第2金曜日・前年は令和4年3月25日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
2年次	99,316	920	92,268	1,310	88,244	279	108,936	95,423	
3年次	83,134	947	92,646	1,184	74,198	254	108,163	98,856	
4年次	61,056	878	68,011	1,060	60,809	224	70,776	85,621	
4	1	60,274	73	86,602	118	96,842	26	84,852	7,917
	2	78,917	74	84,541	76	82,622	27	99,587	7,368
	3	89,551	78	93,886	134	84,111	28	104,430	8,775
	4	96,634	73	98,901	78	93,317	18	101,788	7,440
	5	112,322	54	111,763	78	99,245	18	123,317	6,324
	6	122,177	71	111,003	68	119,460	10	117,640	7,227
	7	95,057	53	104,775	56	85,663	8	74,406	7,599
	8	45,824	76	66,689	75	30,158	12	31,436	7,762
	9	25,075	83	22,432	102	17,417	12	15,575	6,428
	10	16,210	91	21,039	87	9,477	26	20,611	6,131
	11	18,362	78	20,287	97	8,250	22	26,558	6,750
	12	14,582	74	21,227	91	10,159	17	22,961	5,900
5	1	15,738	78	27,690	58	19,500	22	23,711	5,826
	2	15,420	56	22,022	99	12,624	21	36,078	5,457
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
2年次	228,479	6,027	217,319	4,382	264,159	2,114	190,693	172,233	
3年次	210,211	6,047	193,481	4,181	230,848	1,993	181,918	178,394	
4年次	157,307	6,259	149,060	3,820	190,213	1,918	135,855	174,435	
4	1	156,690	554	134,664	365	200,007	194	150,928	14,421
	2	154,568	511	135,321	311	173,563	172	163,424	13,270
	3	173,935	563	159,393	369	183,812	206	175,588	15,423
	4	181,317	559	179,829	287	212,539	189	178,697	13,776
	5	209,912	449	203,328	263	235,953	151	190,858	12,825
	6	238,145	353	221,190	368	220,208	143	187,300	12,975
	7	204,151	331	188,185	287	226,511	112	157,593	13,177
	8	156,707	560	151,410	271	196,618	121	100,500	15,237
	9	124,209	554	110,885	393	148,069	153	88,395	15,808
	10	129,255	531	106,490	278	161,723	143	91,131	15,097
	11	114,617	706	98,855	296	169,113	153	93,840	16,644
	12	114,802	588	106,584	332	166,884	181	86,297	15,782
5	1	115,818	567	103,190	309	147,300	186	79,231	15,219
	2	115,327	470	103,410	331	144,020	179	93,942	14,311
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

令和5年3月乳牛市場成績

頭：千円：税込

市場名	開催日	育成牛(牝・牝系・他)				初妊牛(牝・牝系・他)				経産牛(牝・牝系・他)			
		成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値
根室	3/2					340	972	336	671	2	521	432	477
十勝	3/9					681	1,186	237	642	111	722	70	274
北海道	3/10	69	372	11	205	120	809	279	534	16	543	100	292
豊富	3/17					326	880	202	518	7	402	88	237
根室	3/20					417	990	274	611				
釧路	3/21					366	965	110	595	5	482	224	385
北見	3/22					403	968	100	535	2	337	165	251
十勝	3/23					514	1,311	187	564	94	673	117	303
豊富	3/24	336	440	4	252								
根室	3/27	219	402	22	269								
合計	10回	624	440	4	253	3,167	1,311	100	592	237	722	70	290
前年同月成績	10回	1,055	550	1	324	2,526	1,205	77	655	259	817	66	300
前月合計成績	9回	882	426	12	263	2,827	1,125	67	566	217	659	33	312

ホクレン乳牛市場開催日程

4月3日(月)	ホクレン北見地区総合家畜市場(佐呂間) 育成	5月12日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場(豊富)
4月10日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場(音更)	5月15日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場(音更)
4月13日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場(音更) 育成	5月18日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場(音更) 育成
4月14日(金)	ホクレン北海道家畜市場(安平)	5月19日(金)	ホクレン北海道家畜市場(安平)
4月14日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場(豊富)	5月22日(月)	ホクレン根室地区家畜市場(中標津)
4月19日(水)	ホクレン北見地区総合家畜市場(佐呂間)	5月23日(火)	ホクレン釧路地区家畜市場(大楽毛)
4月20日(木)	ホクレン根室地区家畜市場(中標津)	5月24日(水)	ホクレン北見地区総合家畜市場(佐呂間)
4月21日(金)	ホクレン釧路地区家畜市場(大楽毛)	5月30日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場(音更)
4月25日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場(音更)		
4月28日(金)	ホクレン釧路地区家畜市場(大楽毛) 育成		

ホクレン家畜市場所在地及び担当支所(問合せ先)

市場名	市場所在地	電話番号	担当支所・課	電話番号
北海道家畜市場	勇払郡安平町早来新米4番地	0145-22-4109	苫小牧支所 酪農課	0144-36-1431
豊富地域家畜市場	天塩郡豊富町上サロベツ569番地の1	0162-82-3150	稚内支所 酪農課	0162-34-2131
十勝地区家畜市場	河東郡音更町字音更西2線9-1	0155-42-2231	帯広支所 酪農課	0155-66-8220
北見地区総合家畜市場	常呂郡佐呂間町西富127番地2	01587-2-2689	北見支所 酪農課	0157-23-9003
釧路地区家畜市場	釧路市大楽毛86番地1	0154-57-8457	釧路支所 酪農課	0154-23-6163
根室地区家畜市場	標津郡中標津町南中10番2	0153-72-1366	中標津支所 酪農課	0153-72-9967
ホクレン本所 酪農部 家畜販売課	札幌市中央区北4条西1丁目3番地	011-232-6188		

☆家畜車の手配につきましても、各市場担当課にて承っておりますのでご相談下さい。

北海道乳牛産地情報

(令和5年4月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	2.0~3.0	横這い	札幌管内の3月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で98.8%、累計で101.4%、苫小牧管内月計で93.5%、累計で96.1%の実績となっております。 4月の初妊牛動向といたしまして、6月下旬分産が中心となっております。道内外ともに需要が高まり、市場でも堅調な動きが続いており、横這いに推移しています。庭先購買につきましても資源状況も踏まえて、横這いに推移すると考えられます。2年後の生乳生産を目標に雌雄選別腹の需要が高まっていますが、資源の少なさが引き合いがかなり強くなっている状態です。経産牛につきましても、雌雄選別腹は多くあるため全体的には横這いの価格となりますが、産歴の少ない経産牛についてはやや弱含みに推移すると見込まれます。
	初妊牛	5.0~6.0	横這い	
	経産牛	3.3~4.3	横這い	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	2.5~3.5	横這い	根釧管内の3月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で93.0%、累計で96.5%、中標津管内月計で94.4%、累計で97.4%の実績となっております。
	初妊牛	5.3~6.3	弱含み	4月の初妊牛動向といたしまして、6月下旬分産が中心となっております。3月は道内外ともに需要が高まり、市場、庭先で堅調な動きをしましたが、4月からは夏分産も出回りをはじめ、府県での需要も落ち着いてくると思われますので、価格は軟調に推移すると予測されます。上クラスは先月と同様に堅調な動きをしますが、スノ物の引き合いが先月に比べ弱まり、全体の相場をやや引き下げると予測されます。
	経産牛	4.0~5.0	横這い	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	2.5~3.5	横這い	帯広管内の3月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で93.6%、累計で98.5%の実績となっております。
	初妊牛	5.3~6.3	やや弱含み	4月の初妊牛動向といたしまして、6月下旬分産が中心となっております。管内市場では道内ギガファームが規模拡大に伴い一定の需要はあるものの、夏分産も出回りはじめのため軟調に動くと考えられます。同様に庭先購買につきましてもやや弱含みで推移すると見込まれます。腹別については、雌雄選別腹は資源が少ない状況ですが、需要がかなりあるため、しばらくは引き合いが強くなると考えられます。経産牛に関しては、資源はありますが、道内需要が高まり、産歴の少ない牛は高値で取引される状況となっております。
	経産牛	3.5~4.5	横這い	
道北管内	育成牛(10-12月令)	1.7~2.7	横這い	道北管内の3月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で94.5%、累計で98.2%、北見管内月計で90.8%、累計で96.6%の実績となっております。
	初妊牛	4.8~5.8	やや弱含み	4月の初妊牛動向といたしまして、6月下旬分産が中心となっております。初妊牛に閉じて、管内における新規就農者の購買が落ち着きを見せました。管内相場としては軟調な動きを見せていることに加え、4月からは夏分産が出回りはじめるとも考えられます。やや弱含みで推移すると見込まれます。経産牛については、管内において離農等で資源が前年並み以上になることが予想されるため、やや弱含みで見込まれます。
	経産牛	2.8~3.8	やや弱含み	道内の3月中旬までの生乳生産量前年比は93.8%、累計で97.8%の実績となっております。春を迎え、いよいよ畑作業も本格的に動き出しています。
道内総括	育成牛(10-12月令)	2.5~3.5	横這い	4月の初妊牛動向といたしまして、各地域夏分産も出回るため、落ち着きを見せることが予測されやや弱含みに推移すると見込まれます。資源は雌雄選別腹が不足しており、出回り頭数が極端に少なくなっている状況です。ご希望の方は、余裕を持ったご注文を宜しくお願致します。経産牛については、産歴の少ない牛の引き合いが強くなっているため、底堅い相場になると見込まれます。今後、配農情勢次第では大きく相場が後化することもあるため、動向に注視しながら資源確保に向けて動いていきたいと思っております。新年度につきましても、引き続き弊会へ搾乳用兼牛のご注文宜しくお願い致します。
	初妊牛	5.3~6.3	やや弱含み	
	経産牛	3.5~4.5	横這い	

*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。

庭先選畜購買のため、市場購買とは異なります。

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。
担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただけるよう購買のお手伝いを致します。
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

札幌支所

電話 011-241-0765

《各事務所電話番号》
 釧路事務所 電話 (0154)52-1232
 根室陸田員事務所 電話 (0153)76-1877
 帯広事務所 電話 (0155)37-6051
 道北事務所 電話 (01654)2-2368

令和5年4月10日

輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

アメリカ西海岸の海運情勢は概ね正常化しており、安定した本船スケジュールで運航されています。特にロサンゼルス・ロングビーチ港では景気後退と大手小売り業者において、未だに合意しない北米西岸港湾労使交渉を敬遠し、コンテナ貨物の輸入を東海岸にシフトさせているため、両港の今年2月のコンテナ取扱数量は昨年2022年2月に比べ38%減少しています。

コンテナ海上運賃については、海運情勢の落ち着きと連動するようにピーク時より軟化しており、コロナウィルス感染拡大前の水準に近づいています。一方でカナダ産チモシーの出荷拠点となるカルガリーでは、中国を中心とするアジアからのコンテナ輸入量が減少しており、空コンテナ不足により船腹予約が難しく出荷遅延が増加しています。

ビートパルプ

【米国】

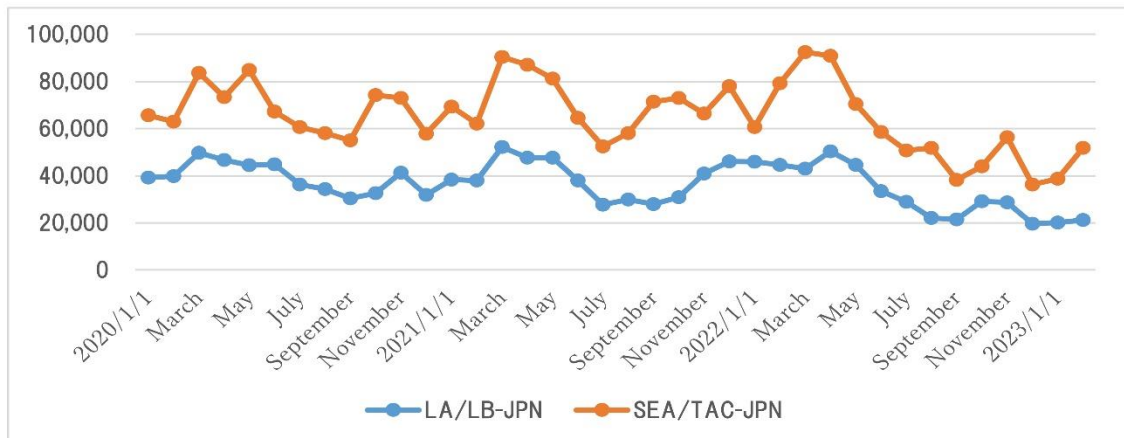
産地では4月に入り製糖作業を終了する工場が出始めています。22-23年産は産地における慢性的な労働人員の不足に加えて、ビートパルプの乾燥機の故障や、一部の工場で火災が発生したこともあり、生産面で苦勞する年となっています。また米国内の物流に関しても冬季の悪天候と、工場と船積み拠点を結ぶ鉄道会社のサービス低下により、出荷作業に大幅な遅延が発生しています。

新穀の23-24年産の生産については、産地で寒冷的な気候が続き、例年よりも雪融けが遅れています。この影響で播種作業の開始が遅れる可能性もあり生産スケジュールには今後も注視が必要です。

米国産牧草の日本への輸出量について

米国農務省(USDA)より4月5日に発表された輸出統計によると、23年2月にスーダングラス、クレイングラスを主とするロサンゼルス・ロングビーチ港から日本向けに輸出された牧草の輸出量は総計21,258トンとなっており、昨年2月の輸出量44,598トンに比べ47%と半減しています。主にアルファルファ、チモシー

が出荷されるシアトル・タコマ港においても、日本向けの輸出量は低調で、2月は前年同期比65%の輸出量となっており、産地相場が高騰する22年産の供給開始以降、北米産牧草の輸出量は低迷を続けています。



(2020年1月から2023年2月までのロサンゼルス・ロングビーチ港及びシアトル・タコマ港から日本に向けた牧草の輸出量推移 単位: トン 出典: USDA)

アルファルファ

ワシントン州

歴史的な高値により輸出向けアルファルファの荷動きは、低調なものとなっています。直近では日本、韓国向けだけでなく、これまで安定的に出荷が続いていた、中国向けも高騰する産地相場と為替の影響(中国元安)を背景に、出荷ペースが鈍化しています。産地輸出業者によると、これまで上級品中心であった中国向けの需要は、安価な中級品にシフトする動きも見られています。

またワシントン州近郊における酪農家向けの需要は、軟化傾向にある米国内乳価の影響を受け、高騰したアルファルファの給与量を減少させ、代替として相場が落ち着いているトウモロコシやストロー類の給与を増やし、飼料コスト低減に努める動きも見られています。

23年産の作付面積は前年比で同水準か微増する見込みとなっている反面、直近の国内外の需要減少に加え、周辺地域では早魃も改善されていることから、中国向けの需要次第になりますが、23年産の産地相場は22年産よりも軟化することが期待されています。

カリフォルニア州

カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは23年産2番刈の収穫が開始されています。23年産の1-2番刈は収穫期に散発的な降雨があったものの、成分値の高い上級品が多く発生しています。

産地相場については、22年産のピーク時と比べるとやや軟化傾向にありますが、内需及び輸出向けの買付が本格化していないため、今後も相場には注視が必要です。

インペリアルバレーにおける3月15日時点の作付面積は、153,070エーカー（前年同期134,031エーカー）と前年同期比114%となっています。

米国産チモシー

22年産は産地相場が高騰した影響で日本、韓国といった主要国の需要が著しく減少し、多くの輸出業者で22年産の在庫を新穀に繰り越すことが見込まれています。

他方で23年産の作付面積は主産地である、ワシントン州コロンビアベースンとキティタスバレーで前年並みになることが予想されています。23年産の作況が平年作となった場合、22年産の繰り越し在庫を含め供給が潤沢になることから、産地相場は22年産のピーク時よりも軟化することが期待されています。

スーダングラス

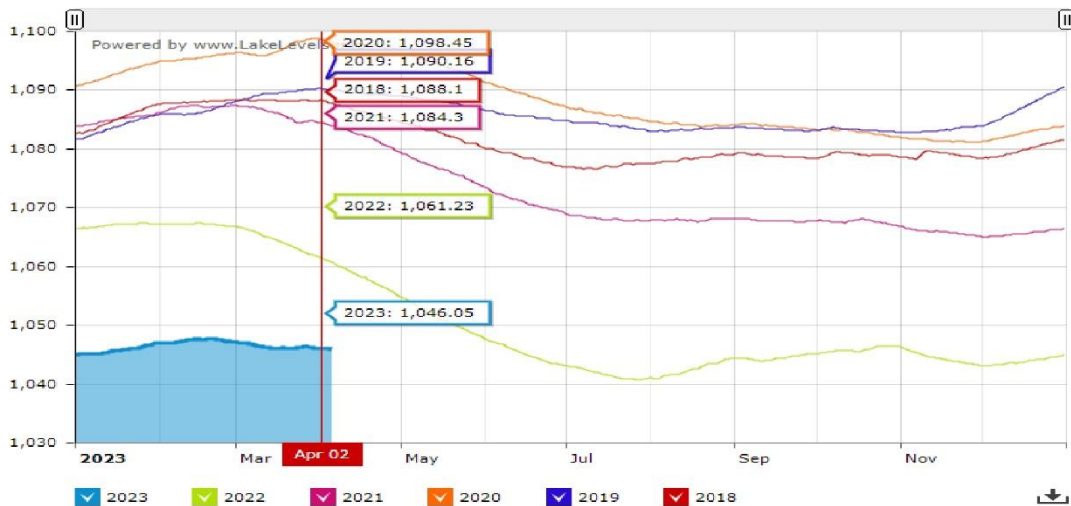
主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、23年産の播種作業が開始されています。これまで雨の日が多く、気温も冷涼なため生育は例年よりも若干遅いペースとなっています。

インペリアルバレー灌漑局の発表によると、4月1日時点の23年産の作付面積は10,678エーカー（前年同期13,987エーカー）となっており、前年同期比76%と、この時期としては過去10年で最低の作付面積となっています。

また産地の水源であるネバダ州ミード湖の水位は過去最低水準まで落ち込んでおり、2年前の2021年4月と比較すると、およそ40フィート＝12メートル程度、水位が低くなっています。この影響で、インペリアルバレーの各生産者は引き続き節水しているため、23年産スーダンの生産量減少が懸念されますが、産地では22年産の繰り越し在庫が多く残っており、23年産の生産量が減少した場合でも日本からの需要を賄う十分な供給力がある見通しです。



23年産スーダングラスの圃場（4月上旬撮影）



(4月上旬における過去5年間のミード湖水位比較

単位：フィート 出典：Mead.USLakes.info)

クレイングラス (クレインは全酪連の登録商標です)

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーにおける4月1日時点の作付面積は22,033エーカー (前年同期19,323エーカー) となっており、先月に続き、前年同期比114%と増加しています。

昨年22年産は米国内の早魃と高騰したアルファルファ相場の影響により、クレイングラスに対する内需からの引き合いが強くなりましたが、直近では西海岸における早魃状況は改善しており、昨年よりも調達できる飼料の選択肢が多いため、ピーク時に比べ内需からの引き合いは弱くなっています。引き続き内需の引き合いには注視が必要ですが、輸入需要を賄うには十分な生産が見込まれており、23年産は産地相場の軟化が期待されています。

23年の生産については産地では水入れが開始されています。産地では例年よりも冷涼な気候が続いているため、1番刈の収穫は4月下旬から本格化する見込みです。



23年産クレイングラスの水入れ後の圃場 (4月上旬撮影)

バミューダ

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーにおける4月1日時点の作付面積は64,722エーカー（前年同期61,503エーカー）と前年同期比105%の作付面積となっています。

天候次第になりますが、23年産は4月中下旬から収穫が開始される見込みとなっており、種子相場が堅調な為、序盤は例年通り多くの生産者が種子向けの収穫を行う見込みです。

ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

22年産のライグラスストローとフェスキューストローは、需要国である日本、韓国で自給飼料が多く収穫できたため、荷動きが鈍化しています。産地では余剰在庫が発生しており、産地相場は軟化傾向にあります。

カナダ産チモシー

主産地であるアルバータ州では、冬期に大雪や最低気温が -20°C ～ -30°C となった日もあり、工場への原料草搬入が滞り、工場での生産が大幅に遅延しましたが、直近は天候も落ち着いており、生産は安定化しています。

23年産については主産地のひとつである、クレモナ地区で2月まで深刻な早魃となっていました。生育期である今後5～7月の降水量が例年並みの予報となっており、状況が改善するか、今後の天候に注視が必要です。

豪州産オーツヘイ

豪州では23年産の播種前に輸出業者と生産農家の間でオーツヘイ買付けにおける仮契約の交渉が進められています。直近、小麦などの穀物相場が軟化していることや、国内外からのオーツヘイの引き合いが増加していることから、西豪州では23年産オーツヘイの作付面積は前年比10%程度増加することが見込まれています。南豪州、東豪州については、23年産は前年と同程度の作付面積となることが予想されています。

一方で、この先の生育期に例年よりも乾燥した天候となることが全豪的に報じられており、早魃は単収が減り生産量に影響を及ぼすため、今後の天候には注視が必要です。

以上